

事業所名

こども療育研究室Lulu合志

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

R7

年

3月

8日

法人（事業所）理念

こどもの発達に必要な学びと遊びを提供し、笑顔と可能性を想像できる地域に必要とされる療育施設を目指します

支援方針

園や家庭で「できること」が増え、地域・社会参加における適応行動につながるように、こども達のライフステージを見据えた支援を行います。

営業時間

8時

30分

17時

30分

送迎実施の有無

あり

支援内容

健康・生活

健康面：
 ・利用する児童が心身ともに健康で安全に生活できる環境を提供いたします。
 ・感染症対策と衛生管理を徹底し様々な感染リスクへの対策を行います。
 ・正しい手洗い・うがいなど指導～習慣化を促します。また、指導内容については視覚支援や音楽刺激を使用し楽しく学ぶことができるように工夫を行います。
 ・バイタルチェック、保護者への健康状況を共有し体調の変化注意して日々の支援を行います。
 ・事業所の清掃・換気・消毒を徹底し清潔な環境を提供いたします。

生活面：
 ・児童が自立した生活習慣を身につける為に、「あいさつ」「活動準備」「トイレ」「帰り支度」などを他のお友達と練習できる機会、および環境を提供いたします。

① 朝のルーティン確立
 登園時の健康チェックとリラックスしたスタート（好きな音楽や絵本で気持ちの切り替え）を促します。
 持ち物を自分で整理する習慣の確立（バッグの中の整理を支援し、自主性を促す）できるように支援を行います。

② 衣服の着脱サポート
 気温や状況に応じた衣類の選択を練習（暑い・寒いを感じ取り、適切に着替えられるよう支援）の機会を提供いたします。
 ボタンの留め外しや靴の着脱の練習（着替えの時間を楽しい活動にし、自発的に行えるよう支援）を他のお友達と一緒にを行います。

③ トイレトレーニング
 児童に合わせたトイレの習慣づけ（時間を決めてトイレに誘導し、成功体験を積み重ねる）を支援いたします。
 視覚支援（トイレの流れをイラストで示す）を活用し、自立を促す工夫を行います。

④ 清潔習慣の確立
 手洗い・歯磨き・顔を拭くなどの基本習慣の定着（絵カードやリズム遊びで楽しく習慣化）を促します。
 ハンカチやティッシュの使い方を学ぶ（鼻をかむ、口を拭く動作を練習）機会を提供いたします。

運動・感覚

運動面：
 ・バランスボールや平均台を活用した姿勢保持トレーニング、トランポリン・エアクッションを使った体幹トレーニング、ロープ渡りや片足立ちなど、バランス感覚を養う遊びの導入体幹・バランス能力の向上を促す機会をセラピスト支援の下、実施いたします。
 ・ダンスやリズム遊びを取り入れ、動きの模倣を促す機会を提供いたします。
 ・ボール投げ・キャッチボールを通じて、手と目の協調動作を鍛える支援を行います。
 ・ラダー運動や障害物コースを用いたサーキットトレーニングを行い基礎筋力と体力の向上を図ります。
 ・運動が苦手な児童には個別の運動メニューを用意し、達成感を感じられる支援を行います
 ・鬼ごっこ、かくれんぼ、ドッジボールなど、ルールのある遊びを提供いたします。
 ・チームで協力するゲーム（フラフープくぐり、リレー競争）を取り入れ、社会性の発達も促していきます。

感覚面：
 ・感触遊び（スライム・小麦粉ねんど・水遊び）を通じた触覚刺激を促す支援を行います。
 ・触られることに敏感な児童には、タッチケアや手指マッサージを実施いたします。また、毛布やクッションを活用し、心地よい触覚刺激を提供することで安心感を提供いたします。
 ・ブランコ・ハンモックを活用した揺れの刺激、回転イスやトランポリンを使用した刺激を促すことでバランス感覚の成長を促します。
 ・マッチング課題や絵本の読み聞かせ、音楽あそびなどを取り入れて、遊びや活動の中で視覚や聴覚の発達を促します。

人支援	認知・行動	<p>認知面：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スケジュールの視覚化や絵カード、ピクトグラムを使って「見て分かる」環境を提供いたします。 ・簡単な選択肢を用いた選択機会を提供し、意思決定を支援いたします。 ・短時間の課題に分割し、「5分でここまでやる」など、小さな目標を設定し達成感を感じられるような課題提供を行います。 ・視覚的なタイマーを活用し、時間感覚を育む支援を行います。 ・好きなキャラクターや物を使って認知活動を促進（電車が好きなら、路線図を使った数や文字の学習）、ICT機器（タブレット学習）を活用し、ゲーム感覚で学習する機会を提供する等、児童の興味に基づいた活動～課題提供を行います。 <p>行動面：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「次に何をするのか」を明確にすることやスケジュールボード、タイムタイマーを活用し行動の予測可能性を高める支援を行います。 ・静養室などを活動し、衝動性を抑えるための環境整備を行います。 ・達成しやすいスモールステップを積み重ねて成功体験をもとに行動の学習を促します。 ・褒めることやトークン（褒美）を提供することでポジティブな経験を積み重ねることができるよう支援を行います。 		
	言語コミュニケーション	<p>言語面：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・好きな物を使い、「ちょうだい」「もっと」などの単語を引き出す機会を提供し、自発的な発話を促します。 ・絵カードなどの視覚支援を活用し、言葉の理解を促します。 ・言葉の選び方を学ぶために、簡単なロールプレイを実施し適切な言葉の使い方を学ぶ機会を提供いたします。 ・身近な生活場面（買い物・公園・食事）を題材に、適切な言葉を学ぶ活動を導入し言語面の学習を促します。 ・絵本の読み聞かせやリトミックを活用し、新しい言葉に触れる機会を提供いたします。 <p>コミュニケーション面：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身振り手振り、視線や指差しなど非言語的コミュニケーションの活用から意思表示の機会を増やすことを支援いたします。 ・簡単な選択肢を提示し、本人が「これ！」と示せる機会を増やす ・遊びやロールプレイの中で順番を意識させる支援を行います。 ・「怒ってる？」「悲しい？」など、相手の表情を読み取る練習を活動や遊びの中で考える機会を提供いたします。 		
	人間関係 社会性	<p>人間関係：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一緒に遊ぶ時間を短時間から始め、少しずつ交流時間を延ばし他児との交流機会を増やすことができるように支援を行います。 ・隣で遊ぶ「並行遊び」から、少しずつ「協力遊び」に移行する支援を提供いたします。 ・人形劇や絵本を活用し、相手の気持ちを理解するトレーニング相手の気持ちを考える機会を提供いたします。 ・「ありがとう」「ごめんね」などの言葉を適切な場面で使えるよう支援いたします。 ・「貸して」「いいよ」「ちょっと待ってね」のやり取りを促し、他児童と仲良く遊ぶためのルールを学ぶ機会を提供いたします。 ・ルールのある遊び（椅子取りゲーム、じゃんけん）を通じて、ルールを守る経験を積むことができるように支援を行います。 <p>社会性：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶の習慣や人混みでの適切な行動、公共の場でのルールを絵カードで伝え、実際に体験する機会を提供し基本的なマナーを学習を促します。 ・「待つ」練習をゲーム感覚で行いながら衝動的な行動をコントロールできるように支援を行います。 ・お買い物ごっこや模擬体験を通じて、社会のルールを楽しく学び社会体験を増やす支援を行います。 ・高齢者施設との交流や、同法人事業所との交流の中で、異年齢・他の環境で過ごす人たちとの関わりを増やす為の活動を計画～実施いたします。 		
	家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭でのケア、療育のアドバイスをいたします。 ・困りごとに対する相談に乗り、必要があれば社会資源の利用について関係者間で検討を行います。 ・就学時には学校と連携を行い、保護者様の不安が解消できるように支援を行います。 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・就学先の選択支援を行います。 ・学習・集団生活の準備を支援いたします。 ・学校との連携を行うことで、円滑に就学ができるよう支援を行います。
	地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・相談員と連携し必要に応じて地域資源の活用を助言～支援いたします。 ・公園や児童館を活用し、他の子どもたちと自然に関わる機会を提供いたします。 ・公民館や体育館、図書館など、公共施設の利用に慣れる機会を提供いたします。 ・障害理解・インクルーシブな環境づくりを検討していきます。 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な研修会を実施し、職員の知識向上に努めていきます。 ・関係事業所間での研修を実施、児事業所以外での支援方法や思考内容について経験～検討する機会を構築していきます。
	主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・季節ごとの活動 ・お誕生日会 		